

静岡県立熱海高等学校に関する要望書

静岡県立熱海高等学校は、昭和 16 年に熱海市立高等女学校として設立され、昭和 23 年の県立移管を経て、昭和 42 年に現在の場所に移転し、授業を開始しました。現在では普通科に福祉・ビジネス観光・文理・総合の4類型を設置するなど、「地域を支える人材を輩出し、地域や静岡県になくてはならない信頼される高等学校」を目標に頑張っています。

多賀湾に面した立地環境からヨット部など他校にない特色ある部活動、地域のコミュニティ活動や観光イベントにも寄与しているエイサー部、イカメンチ関連商品への取組など地域と密着した活動にも積極的に取り組んでいます。

一方、少子高齢化の中でここ数年、熱海高等学校は定員割れの状況にあり、地域としても大変危惧しており、また、熱海市唯一の高等学校として、熱海市内の関係者が多大な関心を寄せております。このため、同校がさらに魅力的な学校となるよう、熱海高等学校、静岡県教育委員会とともに、熱海市においては、PTA、後援会、地域住民、産業界、観光関係者、市議会など関係者が一丸となって取り組む決意であります。

生徒や保護者など学校関係者の皆さんは、定員割れの原因の1つとして、通学路の厳しさをあげており、熱海市では県のご支援を受け、通学路や災害時の避難路としての機能も有する観光施設(さくらの名所散策路)整備事業を実施してまいりました。

しかしながら、用地取得が難航したため平成 19 年以降、当該事業を中断していましたが、懸案であった事業用地が確保されたこと、昨年 11 月、12 月には改めて関係各所から熱海市に対しても早期完成に向けての強い要望があったことを受け、市の財政運営からも当該事業の再開を具体的に考えています。

つきましては、熱海高等学校の活性化に向けた静岡県のご支援をお願いいたしたく、下記のとおり要望いたします。

記

1. 熱海高等学校の更なる魅力向上に向けた、地域が一丸となった推進体制(懇話会等)及び同校に対する県教育委員会からの支援の充実
2. 静岡県の観光施設整備事業としての「さくらの名所散策路」の早期完成に向けた支援などの継続